

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公開番号】特開 2018-32509 (P2018-32509A)

【公開日】平成 30 年 3 月 1 日 (2018.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-008

【出願番号】特願 2016-163635 (P2016-163635)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/22 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/22 Z

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/26 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 23 日 (2019.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画素開口を形成するリブと、

前記画素開口が形成される領域に段差部分を有し、前記リブの下に形成された下部電極と、

前記下部電極上に配置された有機層と、

前記有機層上に配置された上部電極と、

前記断差部分に、前記リブと離間して配置された平坦化部材と、

を有することを特徴とする有機 E L 表示装置。

【請求項 2】

前記平坦化部材はアクリルで形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 3】

前記画素開口が形成される領域に分断して配置された I T O 層と、

前記 I T O 層上に配置された容量絶縁膜と、をさらに有し、

前記 I T O 層は前記容量絶縁膜によって分断され、

前記 I T O 層の分断部分上方に前記断差部分が位置することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 4】

前記分断された I T O 層のうちの第 1 の I T O 層は、前記下部電極と前記容量絶縁膜により保持容量を形成することを特徴とする請求項 3 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 5】

前記分断された I T O 層のうちの第 2 の I T O 層は、前記下部電極に接続されることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 6】

画素開口が形成される領域に分断して配置された I T O 層と、

前記 I T O 層上に配置された容量絶縁膜と、
前記容量絶縁膜上に配置された下部電極と、
前記下部電極上に配置された有機層と、
前記有機層上に配置された上部電極と、
前記下部電極上かつ前記画素開口内に配置され、前記下部電極の断差部分の端に配置された平坦化部材と、
を有することを特徴とする有機 E L 表示装置。

【請求項 7】

前記段差部分にて、前記下部電極と前記有機層とが直接接触していることを特徴とする請求項 6 に記載の有機 E L 表示装置。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2018032509A5	公开(公告)日	2019-10-03
申请号	JP2016163635	申请日	2016-08-24
[标]申请(专利权)人(译)	株式会社日本显示器		
申请(专利权)人(译)	有限公司日本显示器		
当前申请(专利权)人(译)	有限公司日本显示器		
[标]发明人	德田尚紀		
发明人	德田 尚紀		
IPC分类号	H05B33/22 H01L51/50 H05B33/26		
CPC分类号	H01L27/3276 G09G3/3233 G09G2300/0842 G09G2320/045 H01L27/3246 H01L27/3248 H01L51/5203 H01L51/5206		
FI分类号	H05B33/22.Z H05B33/14.A H05B33/26.Z		
F-TERM分类号	3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC29 3K107/CC41 3K107/DD46Z 3K107/DD88 3K107/DD91 3K107/DD96		
其他公开文献	JP2018032509A		

摘要(译)

要解决的问题：即使当如上所述分割和布置ITO层时，为了防止分割部分上方的有机EL膜的上电极和下电极之间的短路。 解决方案：有机EL显示装置具有在形成像素开口的区域中划分并布置的ITO层，布置在ITO层上的电容器绝缘膜，以及布置，设置在下电极上的有机层，设置在有机层上的上电极，前电极并且设置平坦化构件，以使下电极的切割部分的倾斜平缓。